

# 三井住友銀行ES

---

## 1. 学生時代に力を入れたことを教えてください(100文字以内、最大3つ)

### 1.1. チェス

中高時代はチェス部に所属し、全日本選手権にも出場しましたが、大学にはチェス部が無かったので、チェスサークルを立ち上げ、会長として運営に力を入れました。学園祭や新入生歓迎会での企画なども考えました。(97文字)

### 1.2. 量子力学

大学の講義で習う物理学の公式を自分で証明することに力を入れました。証明には物理学だけでなく数学の知識も必要だったので、専門書を読んだり、友人とゼミを行ったり、数学科の講義を履修したりしました。(96文字)

### 1.3. ガムテープ

学部卒業研究で、「粘着面同士を貼り合わせた2枚のガムテープを剥がしたときに出る光」の研究に力を入れました。研究室で前例の無いテーマだったので1からのスタートでしたが、粘り強く取り組みました。(96文字)

## 2. 上記でお答えいただいた取り組みの中からひとつ選択し、苦労したことや克服したこと、そこから得たものを教えてください。(400文字)

### 2.1. 案1:ガムテープ

実験を1から企画し、形にすることに苦労しました。実験装置を設計してオーダーすることや、既存の理論との整合性を検証するための測定方法と分析方法を考案することは、共同実験者2人を含め全員未経験でした。予算と時間が限られている中で、テープを剥がすモーターなど約20個の部品を発注するのに神経を使いました。装置が完成してからも、測定誤差が大きく、データを信頼しにくいことが問題でした。進展の無い日も多く、雰囲気が悪くなる時もありました。そんな状況下でも、私は新たなデータ分析手法を考え、やって見せることで明るい話題を増やしました。また、メンバーからの提案は必ず実行に移し、不満を取り除きました。結果的にこれらの行動が奏功して説得力のあるデータの解釈が得られ、40分間の発表会では良い報告が出来ました。この経験から私が得たものは、困難な状況でも諦めずに行動を起こすことが、成功に繋がるという教訓です。(396文字)

### 2.2. 案2:量子力学

苦労したのは、自分の専門外である数学の知識を身に付けることです。数学の基礎的な部分から学ぶ必要があったので、ゴールが非常に遠く感じました。しかし、私は公式の丸暗記が好きではなく、証明出来るようになることが物理学への深い理解に繋がると考えていたので、諦めずに様々な行動を取りました。まず私は物理学と数学の関係を説明している専門書を読み、公式の証明において何が重要なのかを理解しました。その後、同じように公式の丸暗記が好きではない友人2人に声を掛けて、3人で数学のゼミを行いました。さらに、私は数学科の講義も履修し、単位を取得しました。その結果、公式の一部については証明出来ました。これらの過程の中で私が得たものは、自分が実現したいことから逆算して必要な行動を考える力と、一見難解に見える理論も、基礎から一步一步進むことで理解出来るようになるという教訓です。(377文字)

### 3. 三井住友銀行を志望する理由についてお答えください。(150文字)

御行が提供できるソリューションの幅広さと、御行の社風に惹かれました。銀行の中でも、グループ力を活かしてお客様に様々な提案ができ、中期経営計画では金融の枠に収まらない姿勢を表明している御行を特に魅力的に感じました。また、御行では個人の裁量権が大きく、成長しやすい環境にあることも魅力と思いました。(147文字)

### 4. 入行後ご自身の強みを生かし、どのようなことに挑戦したいですか(200文字)

理系の素養を生かし、法人営業担当として新規事業の提案に挑戦したいです。私の強みは、物理学を研究する過程で、論理的思考力やデータ分析力、プログラミングの知識などを培いながら新しいテーマを切り開いてきたことです。企業のDXや銀行のコンサルティング業務が求められる中で、この力は、お客様にとって何が必要なのかを突き詰めて考え、どんな新規事業に見込みがあるかを見極めることに生かすことが出来ると思います。(198文字)